

しあわせ

2025年
1月1日発行
No.196



多くの皆様のあたたかいお気持ちをいただきました

関ヶ原合戦祭り2024の会場にて、19日にボランティア連絡協議会の協力で共同募金テントを出展し、募金活動を行いました。また、翌20日には中学生、ボランティア連絡協議会の会員、社協職員が街頭募金を行い、募金を呼びかけ、来場の方々から、あたたかいお気持ちをたくさんいただきました。ありがとうございました。





新春のご挨拶

社会福祉法人関ヶ原町社会福祉協議会

会長 三輪 均



新年あけましておめでとうございます。皆様方には、輝かしい新年をお健やかに迎えたいとお慶び申し上げます。

日頃は、社会福祉協議会の各種事業に對しまして格別なるご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

昨年は、能登半島地震で一年が始まったことは誰もが記憶されていることと思いません。驚きと恐怖感の中でのスタートとなりました。被災地の日でも早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

さて本会では、新たに第6次地域福祉活動計画の策定に向け、今年度策定作業を進めております。本会が実施する地域福祉活動は、令和3年度に策定しました第5次地域福祉活動計画に基づいて推進しており、その計画期間が今年3月で終了することに伴うものです。その作業も現在最終盤を迎え、1月下旬には最終案を策定委員会に提出する予定となっております。なお、今回の計画からは、町が策定する関ヶ原町地域福祉計画と社協が策定する地域福祉活動計画との一体計画として策定を進めており、

町全体としての福祉に関する考え方や方向性を統一し、今後この計画に沿った形で、町と連携しながら各施策及び事業を進めてまいります。

しかし、計画を進めていく上で、福祉活動関係者の高齢化が進む本町において、福祉の担い手不足は大きな課題となっております。もとより町と本会が協力しながら対応を考えてはまいります。何よりも、会員の皆様のご理解による地域住民同士の助け合いが地域福祉活動継続の基本となっております。また、支えあいのしくみづくりに向けては、地域住民が抱える様々な課題やニーズ等の確認・把握が必要となつてまいります。会員の皆様をはじめ、自治会、民生委員・児童委員、福祉推進員並びにボランティアの方々の一層のご理解とご協力、ご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、この一年が皆さまにとって穏やかで幸福に満ちた年となりますようにご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

民生委員・児童委員 活動レポート

関ヶ原町民生委員児童委員協議会では、全委員が部会に所属し、研修会や勉強会など部会活動を行っています。今年度は研修会として、「こども家庭センター」と「生活保護」について、町の担当者より話を聞きました。

また、11月13日に海津市で行われた西濃ブロック研修会に参加し、認定NPO法人レスキューストックヤードの栗田暢之氏より“災害からいのちと暮らしを守る”を演題に1月の能登半島地震から現況について話を聞きました。

災害が発生したときに、私たち民生委員児童委員は何をしたらよいのか、また日頃から災害に備えることなど、改めて委員同士の話し合いが必要であることを認識しました。



ふくしフレンドパーク開催

10月19日(土)、関ヶ原合戦まつり2024の会場において、ふくしフレンドパークを開催しました。

今年はふれあいセンター小ホールで輪投げとポッチャのコーナーを設置。2つのコーナーに参加すると“ラッキーパンチBOX”に挑戦して景品をゲットでき、中に何が入っているかわくわくしながら力いっぱいパンチする姿もありました。



子どもも大人も一緒に参加していただき、みんなの笑顔が溢れる一日となりました。



※ふくしフレンドパークは、赤い羽根共同募金の配分を受けて実施しました。
老人クラブ連合会及び民生委員児童委員協議会の皆さま、ご協力ありがとうございました。

さくらんぼ通信

生活介護事業所 さくらんぼの家 TEL43-1525

今年も7月に関ヶ原もりあげ隊のご協力をいただき、コスモスの種まきに参加させてもらいました。「きれいに咲いてね！」と願いを込めてまきました。

また、屋外活動として毎月行なっている、さくらんぼの家周辺のウォーキングでは、フジバカマの畑に白いドアを発見！利用者のみな



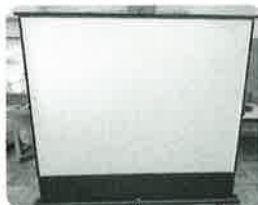
さんも扉を開けて通ってみたり、ひょこっと顔をのぞかせてみたりと白いドアに興味津々。最後は扉の前で写真を撮り。



皆さんいい表情で楽しい屋外散策活動となりました。
関ヶ原もりあげ隊の皆さま、ありがとうございました。今年もよろしく願いいたします。

今年度、赤い羽根共同募金から配分を受け、新たにプロジェクター、スクリーン、スピーカーセットを購入しました。

利用者のみなさんの余暇活動で映画を楽しむなど、活用していきたいと思っております。ありがとうございました。





SVC関ヶ原 今須地区の“防災について考える集い”へ

11月17日(日)今須地域おこし協力会(通称ITO)が、地域の方々と防災について考える集いを開催されました。

災害ボランティアコーディネーター関ヶ原(通称SVC関ヶ原)の会長で防災士の小西亜弓さんに指導依頼の声がかかり、突然の自然災害に備えることの大切さと家具の固定方法についての話し、防災・災害時グッズの紹介などをされました。

そのあと、クロスロードゲームという災害対応のカードゲームをおこないました。

このゲームは、示された災害時の行動を、自分で行うか行わないかをまず自分でイエスかノーか答えを出してからグループ内の他の意見を聴きます。正解はなく、又ジレンマに陥るような問いかけもあります。意見交換することでそれぞれの立場や環境で考えが異なることを知ることができます。

1時間ほどでしたが、命を守るための日頃からの備えや差し迫った時の判断について考えることができた貴重な時間になったと思います。



▲ぎふ防災ハンドブックを用いて防災の説明をされる小西会長



▲段ボールベッドの組み立てを体験されました

後半は、役場の防災担当の方の指導のもと、参加されたみなさんが段ボールベッドと簡易トイレの組み立てを体験されました。

SVC関ヶ原の小西会長は、防災や災害ボランティアセンターについての話し、クロスロードゲームの実施などを希望される地域やグループがあれば、SVC関ヶ原としておじゃましたいとのことです。

お問い合わせは社協まで。

電話 43-2943

ボランティア連絡協議会、垂井町のボランティアと交流

11月28日(木)、関ヶ原町ボランティア連絡協議会は、ワイワイプラザ垂井にて、垂井町ボランティア連絡協議会と交流をはかりました。同じ不破郡内の町のボランティアどうし、お互いにどんな活動をしているのかを紹介し合ったり、共通の悩みである人口減少や高齢化の中でのボランティアのあり方などの意見交換をおこないました。

おみやげにお渡しした風ぐるまもよろこんでいただけましたようです。

今後も交流をもちながら活動ができればと思います。



▲垂井町ボランティア連絡協議会のみなさんと



福祉協力校だより



関ヶ原小学校

関ヶ原小学校 赤い羽根共同募金

関ヶ原小学校では、福祉委員会を中心に、「赤い羽根共同募金」に参加しました。福祉委員会の児童が、各学級の教室に行き、呼びかけながら募金を募りました。「少しでも誰かの助けになればいい」、その思いから、児童だけでなく教員も含め、学校全体で取り組みました。



たいせつなわたし たいせつなあなた

11月26日(火)、関ヶ原小学校では、「ひびきあいの日」の取組として劇が披露されました。これは、12月4日(水)から始まる人権週間に先駆けて行われた集会です。

本校では、特別支援学級に所属する児童を中心に劇を行いました。素晴らしい劇にするために、劇で使う小道具を全校のクラスで協力して作成し、全校で創り上げます。

「一人一人得意なことは違う、『みんな違って、みんないい』」をテーマとして掲げ、劇を行いました。



当日は保護者の方にも出席していただき、劇を見ていただきました。

この「ひびきあいの日」をきっかけに、人権週間に向けて、本校では「ぼかぼか言葉キャンペーン」が始まります。これは、「言われてうれしい言葉」「心があたたかくなるやりとり」を増やし、関ヶ原小学校全体で自分の大切さとともに、仲間やまわりの人の大切さに気づき、認めていくために、まず普段の言葉遣いから考えていく活動です。学級ごとにどんな言葉を使うと心があたたかくなるのかを話し合い、「ぼかぼか言葉」の意見を出し合います。そして、生活の中でどんな「ぼかぼか言葉」を使ったかを「ぼかぼかの木」に貼り付けて、「ぼかぼか言葉いっぱいの木」を作ります。

人権は、人が生まれながらに持っている自分らしく生きる権利です。本校では、誰もが安心して生活できる学校づくりを目指しています。



相談日 **しあわせ相談センター**

- 場所/国保関ヶ原診療所 北棟1階(社協センター)
- 時間/午後1時30分~午後4時
- ご相談は無料

	心配ごと相談 <small>※人権相談合同開催</small>	弁護士相談 弁護士 吉田和永 <small>※行政相談合同開催</small>	結婚相談
1月	10日(金)	18日(土)	18日(土)
2月	10日(月)	15日(土)	15日(土)

※都合により日程等を変更する場合がございます。ご了承ください。
 ※弁護士相談は事前予約が必要です。 ☎43-2943

善意のご寄附

10月10日から12月9日分まで(受付順・敬称略)

- あしたば会 …… 10,000円
- あしたば会 …… 10,000円
- (やぐらんぼの家へ)寄附いただきました
- 匿名 …… 300,000円
- (やぐらんぼの家へ)寄附いただきました
- 匿名 …… 四四,六五四円
- 匿名 …… 一〇〇,〇〇〇円
- 匿名 …… 一〇〇,〇〇〇円
- 憩いの郷 あん …… 作業用イス
- (やぐらんぼの家へ)寄附いただきました



単位サロン交流会を開催

12月7日(土)、単位サロンの代表者が集まり交流会を開催しました。3つの単位サロンより実践発表があった後、グループに分かれて情報交換を行いました。短い時間ではありましたが、それぞれの活動状況や工夫していること、悩んでいること等様々な話で盛り上がっていました。参加者からは、「今後の活動のヒントになった」「悩みを共有できてよかった」等と感想をいただきました。



町内33の単位サロンがより活発な活動となるよう、みなさまも各地区のいきいきサロンにお出かけください。

※この事業は、赤い羽根共同募金の配分を受けて実施しました。

介護者サロン

11月26日(火)、日頃介護していらっしゃる方を対象に介護者サロンを開催しました。講師の先生に絵の具やペンを使って、クリスマスリースや六地藏のサンタクロースの描き方を教えていただきました。その後、コーヒーとお菓子を囲んで、日頃の介護の悩みやご自身のことなどを語り合いました。

短い時間でしたが、交流を通してほっと一息リフレッシュしていただけたのではないのでしょうか。



お米の寄付にご協力いただき ありがとうございました。

匿名 1名 30kg

11月1日号の社協だよりでお米の寄付をお願いしたところ、ご協力をいただきました。ありがとうございました。ご提供いただいたお米は岐阜県社会福祉協議会が設置している「岐阜県子どもの居場所応援センター」へお届けしました。センターでは、岐阜県内の子ども食堂や学習支援等の活動に役立てられます。

※引き続き、お米の寄付を募集しておりますので、ご協力いただける方は社協までご連絡ください。(TEL 43-2943)

義援金のご報告

(令和6年12月現在)

令和6年9月
能登半島大雨災害義援金

42,400円

みなさまからお寄せいただきました義援金は、日本赤十字社岐阜県支部へ送金させていただきました。みなさまの善意に心から感謝申し上げます。